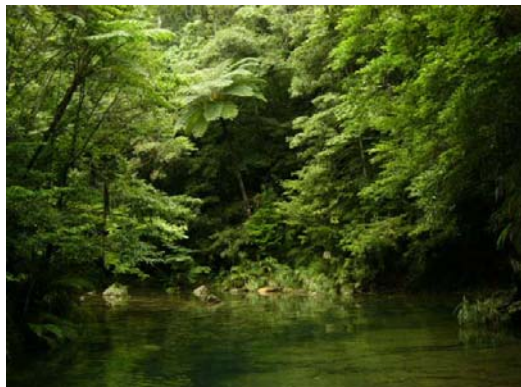
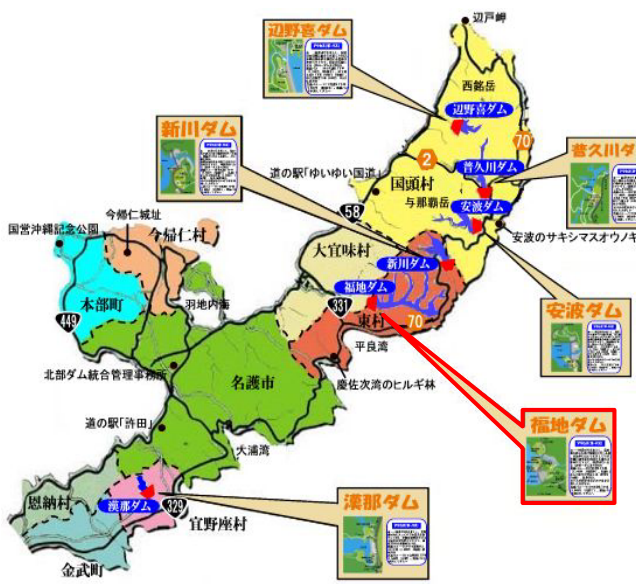


観光社会資本の事例

テーマ	自然豊かなやんばるの山々とふれあえる福上湖	
【施設の状況写真】		
		
県下最大の貯水量を誇る福上湖。やんばるをドライブする人々の絶好の休憩場所となっている。	今夏就航した自然観察船でしか行けない上流部。まだ多くの自然が残っている。	
【施設の利用写真】		
		
今夏就航した自然観察船。ダム湖周辺の森林を観察できる。	森林を散策すると珍しい動物と遭遇する事もある。	
【観光資源としての利用状況】		
福地ダムは、東村に多面的、複合的な効果をもたらしました。観光面でも、ダム湖周辺のやんばる特有の森林を散策する方々がいるほか、ダムの仕組みや沖縄の水資源開発の歴史を知ることの出来る資料館も整備されています。また、東村及び村の第3セクターとタイアップしてダム湖に自然観察船を運行させる等ダムを「村の観光資源」として活用し利用を進めています。		

テーマ	自然豊かなやんばるの山々とふれあえる福上湖
【社会資本の基礎データ】 ○ 名称 福地ダム ○ 所在地 沖縄県国頭郡東村字川田上原1105 - 108 ○ 事業名 福地ダム再開発事業 ○ 事業主体 沖縄開発庁 沖縄総合事務局 ○ 事業期間 昭和53年度～平成3年度	
【社会資本の役割・効果】 ○ 利水効果 福地ダムは、沖縄本島で最初に建設されたダムで県内最大の貯水量とともに他の北部4ダムと導水トンネルで連結され本島内の都市用水の約50%を供給し、およそ110万人の生活を支える水ガメとなっている。 ○ 治水効果 ダム地点では50年に一度おこる洪水流量1,000m³/s のうち、770m³/s を調節し、ダム下流の水害を防止、軽減します。	
【位置図】  	
【関連ホームページ】 観光協会・イベント関係 http://www.eco-park.com/ ダム湖関係 http://www.dc.ogb.go.jp/toukan/	